

夢中熱中青春ライフ!

葛原老人クラブ・寿社会

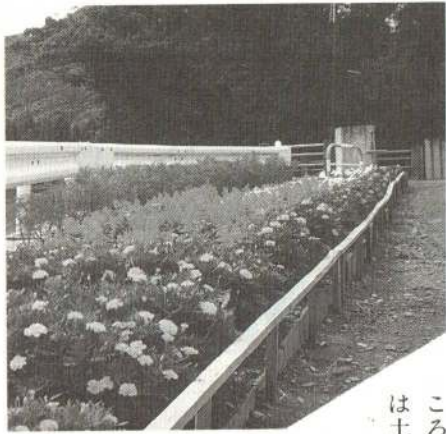
15

家の周りやいつも歩く道の傍らに、きれいな花が咲いていたら素敵ですよ。今回は、自分たちが住む地域を花でいっぱいしようとかんがっている葛原老人クラブをご紹介します。代表の菅原馨さんからお話を伺いました。

今年植えたのは

約2,500本

昭和五十五年以降でしようか、環境美化運動が盛んになったのは。そんな中、十二所地区が五十九年に県の高齢者対策事業の指定を受けたのをきっかけに、葛原では老人クラブと婦人会が主体となって花作りを始めたんです。



最初のころは、農業改良普及所から講師を招いて、それから土作りから播種、育苗まで一から勉強しました。金魚草やホウセンカ、アゲラタムなどいろいろな花を今まで植えてきたんですが、今年はマリーゴールド、コスモス、サルビアにしました。整備された花壇なら何植えても大丈夫でしょうけど、道端はもちろん、日陰になってるところとかも多いですから、結局は土を嫌わない、強くて長く咲いている花に落ち着きました。道路で約四百坪、そのほか一反歩ぐらいの墓地にも植えてます。今年育てた苗は二千五百本ぐらいですね。今、実際に活動に参加している会員は五十五人ほどですが、草取りなどに会員が来られないとその家の人が代わりに出てくれるよう



植栽はとでもしていねいです (左から2人目が菅原さん)

になってきましたから、皆さんに関心を持っていただいているようです。

「きれいになったの」 声がうれしい

今後はプランターを利用することも考えているんですよ。というのは、冬にブルドーザーで除雪があると花を植えてあったところの土も一緒にもっていかれてしまうんです。するとまた春先に土作りから始めなければならぬのですからね。

いろいろ苦労もありますけど、「葛原きれいになったなあ」とか「お陰様で楽しんでます」とかい声は聞こえてくるんです。そんな時はやりがいを感じます。自分が住んでるところです。自分分らで美しくしたいですよ。

古川発 → 大館着

前略

大館市民になりました

16

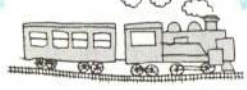
▽今回は部垂町の柳田充宏さんご一家です。
Q・ご家族は何人ですか?
家内と長女の侑里四歳、七月三日に二歳になったばかりの長男佳範と私の四人家族です。

Q・どちらから転入されましたか?
二月一日に宮城県古川市からです。出身は家内が東京、私は新潟ですが、私の実家は今山形にあるんです。

Q・大館の印象はいかがでしたか?
秋田県へ来るのは初めてでしたし、大館がどこにあるのかも分からなかったんです(笑)。来たのは冬でしたが古川と比べて風が強いかなと、それに少し除雪が悪いように感じました。今、家内は街を知ろうと自転車です。走ってますが、大館は坂が多くて上りは大変みたいです(笑)

Q・言葉や食べ物などでとまどいはありませんか?
若い人としか話してないせい、困ったことはないです。タケノコはたくさん頂いて食べました。孟宗と違ってアク抜きしないでいいですから手間がかかりませんよね。

Q・大館にどんなことを望みますか?
とにかくPR、名前を売らないとだめだと思います。高速道路が近くにあるって国道も市内の中心を走ってるんですから、アクセスを良くして、豊富な温泉やハチ公など今あるものをフル活用して宣伝し、人を呼ぶことです。ポスター一枚でも結構効果があると思います。あと、温泉を生かして長距離トラックのセンターなんかはどうでしょうか。



充宏さんと奥さんの泉さん、侑里ちゃんと佳範くんです